

## 日本の主要産業を支えるエラストマー製品 特集号の発行にあたり



読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読いただき、誠に有難うございます。

当社では、創業以来弛まぬ技術開発活動を継続し、世界中の市場へ多種多様なシール製品を供給し続けてまいりました。歴史を遡りますと、日本の高度経済成長に不可欠であった重厚長大といわれる基幹産業への多種多様な製品価値提供を通じて、今日の我々の技術の根幹を築き上げることができました。それらの基盤技術を活用し、進化させ、現在は電子産業、エネルギー産業などの新たな成長産業へとシール製品を拡大させてまいりました。これからも、このような先人達の独創的な技術成果を時代と共に発展させ、更なる成長の基盤となる技術を獲得し、「顧客感動の提供」を実現させてまいり所存です。

さて、今冬号では、当社の主力製品群の一つである「エラストマーシール製品」に焦点を当て、各種産業別の用途、その製品機能を支える技術成果をご紹介します。非常に小さな部品ではありますが、「シール」という極めて単純な機能を発現させるために、原材料を選択し、配合設計技術、コンパウンド技術、最適形状設計技術、成型加工技術を駆使し、全ての技術を積み上げてこそ完成される、当社の蓄積された技術の全てが包含されている製品となっています。単に顧客の要望に合った製品を提供するのではなく、真の顧客ニーズ（用途、使用環境、寸法形状）に徹底的にこだわり、これまでに2000社以上の顧客へ価値を提供し続けてまいりました。また、長年にわたって年間300件以上にも及ぶ顧客での多様な適用実績を日々技術情報として蓄積し、設計にフィードバックすることで、更なる開発パフォーマンスの研鑽に励んでおります。

今回は特に、「建設機械」、「工作機械」、「原子力」、「プレス加工機械」、「飲料市場」、「半導体」を抽出し、これらの産業界へ提供している製品の紹介、及び技術開発活動についてまとめた内容となっております。世界の中でも日本が競争優位性を持つこれらの市場において、当社の社名でもある「Value&Quality」のスピリッツが刻み込まれた製品が常に存在していることを本誌を通じて、より理解を深めて頂ければ幸いです。

今後も、当社は世界の産業発展に寄与できる技術開発を進め、H&S（H：ハード＝製品とS：シールエンジニアリング・サービス）の両面から、顧客価値の最大化を図ってまいります。読者の皆さまにおかれましては、引き続き、当社製品をご愛顧くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

常務執行役員 研究開発本部長 青木 睦郎